

第5学年 音楽科学習指導案

日時 平成30年10月18日(木) 6校時
学級 第5学年1組 26名
指導者 金田 美奈子

- 1 題材名 「日本の民よのせんりつにしたしもう」
- 2 題材の目標 民謡の旋律や囃子ことばの特徴を感じ取り、旋律の抑揚を工夫して「かごまちぶし」をつくる。
〔共通事項〕 ア (7)旋律 (4)呼びかけとこたえ

3 児童の実態と題材設定の理由

第5学年の児童は、第2学年から専科が担当している。日頃より給食の放送で使われている様々な種類の歌をみんなで歌う等、学校生活の様々な場面で音楽に親しみ、声を合わせて歌うことを楽しんでいる。日本の音階で構成された音楽は、第2学年でわらべうた、第3学年では「うさぎ」、第4学年では「ソーラン節」等を歌っており、拍のある音楽とない音楽についても学習をしている。また、「〇〇さん」「はあい」で声を出したり、講師の先生の三味線に合わせて長唄「雛鶴三番叟」を歌ったりした経験もある。この「長唄教室」は、本校が独自に実施している出前授業で、3年前より第4学年以上で年2回ずつ実施している。このように様々なかたちで日本の音階で構成された音楽を聴いたり歌ったりする学習を通して、児童は人の歌声をよく聴き、「こぶし」などの歌い方もまねをするなどして歌う経験をすることができている。

日本の音階を手掛かりとした音楽づくりの経験として、第2学年の時には「なべなべそこぬけ」「おちゃらかほい」の伴奏を「ミソラ」の3音でつくる学習をしている。この時には、鍵盤ハーモニカで「なべなべそこぬけ」の伴奏づくりをしてから「おちゃらかほい」の伴奏づくりを設定したことで、それぞれの旋律のリズムに合った伴奏のリズムで伴奏をつくることができた。この他にも、様々な日本の太鼓の演奏を鑑賞し、同時に同じリズムを演奏する、互いにリズムを掛け合いながら演奏し続けていく演奏等の様式のよさや面白さを知覚・感受した後、日本の太鼓でリズムをつくったりリズムに合った「合いの手」を考えたりする音楽づくりを経験している。

このように、拍がある音楽づくりの経験は積み重ねてきているが、拍のない自由なリズムの音楽づくりの経験は少ない。そこで、今回の題材では「会津磐梯山」「音戸の舟歌」を聴き、拍のある民謡と拍のない民謡の特徴や旋律の抑揚（ふしまわし）、生活の中で聞こえてくる拍のないリズムによる「物売りの声」「相撲の呼び出し」を意識的に聴くことで生活や社会の中に存在している音楽に気付き、それを踏まえて「かごまちぶし」をつくる活動を設定する。このように、生活や社会とのかかわりを意識して民謡を聴いてから身近にある素材を歌詞にして簡単な旋律に抑揚を付けて歌ったり合いの手をつくったりする音楽づくりを経験できるよう題材構成の工夫をすることにより、民謡の旋律が人々の生活や文化と深く結び付いて存在しているということを、生活や社会と音楽とを関連付けながら学習することができると考え、本題材を設定した。

4 教材

「会津磐梯山」

福島県会津地域に伝えられる民謡。会津地域に伝わる「玄如節」が盆踊り節として転用されたものである。囃子詞が最初と最後に入っている拍のある民謡である。

「音戸の舟歌（唄）」

呉市警固屋と音戸町との間に、「音戸の瀬戸」がある。潮の干満につれて急流となり、海中に突き出た岩に当たって渦巻き、これを艀を漕いで乗り切るのは大変難しく、船頭泣かせの難所だった。その音戸の瀬戸を通り抜けていく舟を見て、いつ頃、誰が作ったのか『船頭 かわいや 音戸の瀬戸で 一丈五尺の 艀がしわる』の名文句が生まれた。拍のない自由なリズムで構成されている民謡である。

「物売りの声」「相撲の呼び出し」

いずれの音楽も拍のない自由なリズムで構成されている。「物売りの声」の音楽的な特徴からは、言葉のリズム、抑揚、反復、無拍のリズム、音階、節回しなどに着目することができる。「相撲の呼び出し」は、言葉のリズム、抑揚、無拍のリズム、節回しなどに着目することができる。また、物を売る、合図を送るといった日常性と結び付けて即興的な表現につなげることもできるため、音楽と生活といった視点からの教材化も効果的である。いずれも、生活と音楽との関わりについて考えるきっかけとなる音楽である。

「かごまちぶし」づくり（日本の音階による音楽づくりと『合いの手』づくり）

学校の特色を言葉で表し、「物売りの声」や「相撲の呼び出し」の旋律の抑揚を手掛かりとして旋律を付け、更に旋律に合った「合いの手」をつくる。「合いの手」は、次期学習指導要領解説において、〔共通事項〕の「呼びかけとこたえ」の一例として挙げられており、本題材では〔共通事項〕として取り上げている。

5 題材の評価規準

	音楽への 関心・意欲・態度	音楽表現の 創意工夫	音楽表現の技能
題材の 評価 規準	旋律と「合いの手」による呼びかけとこたえの音楽に興味・関心をもって聴いたり歌ったりする活動に、主体的に取り組もうとしている。 【関一①】	旋律の抑揚を知覚・感受している。 【創一①歌唱】 旋律と「合いの手」による呼びかけとこたえの音楽の構成をどのようにするかについて、自分の思いや意図をもっている。 【創一②歌唱】	声の出し方や旋律の抑揚を工夫して、「かごまちぶし」の歌詞と旋律をつくっている。 【技一①歌唱】 旋律と「合いの手」による呼びかけとこたえの音楽をつくっている。 【技一②歌唱】

6 題材の指導計画（全5時間）

時	○主な学習内容 ・主な学習活動	☆教師の支援 ◆評価【評価方法】
<ねらい>日本の民謡の特徴に興味・関心をもつ。		
1	○旋律と合いの手による民謡の聴取 ・「会津磐梯山」「音戸の舟歌」を比較聴取する。 ・拍の有無を確認する。 ・旋律と「合いの手」を聴き取る。 ・「合いの手」の意味について考えを交流する。 ・旋律の抑揚に気を付けながら旋律を口ずさんだり、歌詞譜に旋律の抑揚を表す線を引いたりする。 ○振り返り ・2つの民謡の特徴について、気付いたことや感じたことをまとめる。	☆拍の有無や旋律と「合いの手」による呼びかけとこたえで構成されていることを確認することができるように、体を動かす活動をしながらか聴いたり音源と一緒に旋律を口ずさみながらか聴いたりする活動を設定する。 ☆旋律の抑揚を確認することができるように、歌詞カードに書きながら歌う活動を設定する。 ◆旋律と「合いの手」による呼びかけとこたえの音楽に興味・関心をもって聴いたり歌ったりする活動に、主体的に取り組もうとしている。 【関一① 演奏表現・学習カード】
<ねらい>旋律の抑揚を感じ取って歌う。		
2	○旋律の抑揚の知覚・感受 ・「音戸の舟歌」を旋律と合いの手に分かれて歌う。 ・「物売りの声」で知っているものを歌う。 ・「物売りの声」や「相撲の呼び出しの声」を歌う。 ○音楽づくり ・自分で考えた「物売りの声」をつくる。 「わらびもち売りの声」	☆前時で学習した拍のない音楽の旋律や合いの手を想起することができるよう、学習カードに音楽づくりで使うのと同じ記述をした歌詞を準備する。 ☆生活の中にある「物売りの声」の音楽に意識を向けることができるように提示する順番を工

	<p>「金魚売りの声」</p> <p>○振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旋律と「合いの手」に分かれて「音戸の舟歌」を歌ったり、「物売りの声」などを歌ったりして気付いたことを学習カードに書く。 	<p>夫する。</p> <p>☆旋律の抑揚の知覚・感受を深めることができるように、声を出して試す時間を多く設定する。</p> <p>◆旋律の抑揚を知覚・感受している。</p> <p>【創一①歌唱 演奏表現・学習カード】</p> <p>☆実際に歌った時に気付いた旋律の抑揚や言葉のリズムなどの特徴についてまとめるよう助言する。</p>
<p><ねらい>声の出し方や旋律の抑揚を工夫して、「かごまちぶし」の歌詞と旋律をつくる。</p>		
<p>3 本 時</p>	<p>○「かごまちぶし」の歌詞づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校を表す言葉を考える。 ・言葉を組み合わせて歌詞をつくる。 <p>○「かごまちぶし」の旋律づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「物売りの声」や「すもうの呼び出しの声」で経験した旋律を参考にして、旋律をつくる。 ・3人組で各自がつくった「かごまちぶし」を聴き合う。 ・友達からのアドバイスを基にして再構成した歌詞と旋律を学習カードに書く。 <p>○振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌詞と旋律の抑揚を生かしてつくったことで、気付いたことをまとめる。 	<p>☆学校の様子、行事や日々の自分の気持ちなどから連想した言葉を友達と一緒に考える場を設定する。</p> <p>☆声を出しながらつくるよう助言する。</p> <p>☆旋律の抑揚を出すことができるように、声の出し方を工夫するよう助言する。</p> <p>☆一つの作品に対して複数の意見が出るよう、3人組での活動を設定する。</p> <p>☆グループで考えたことを基に、もう一度個人の活動に戻り再構成する場を設定する。</p> <p>◆声の出し方や旋律の抑揚を工夫して、「かごまちぶし」の歌詞と旋律をつくっている。</p> <p>【技一①歌唱 演奏表現・学習カード】</p>
<p><ねらい>旋律に合う「合いの手」を工夫して「かごまちぶし」をつくる。</p>		
<p>4</p>	<p>○旋律に合う「合いの手」づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の旋律に合った「合いの手」を考える。 ・旋律のどの部分に「合いの手」を入れるかを歌いながら考える。 <p>○旋律と「合いの手」による構成の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3人組で「旋律」「合いの手」「聴き手」に分かれ、作品を演奏したり聴いたりする。 ・それぞれの作品の構成を確認するとともに、よさや改善点を伝え合う。 ・学習カードに旋律と「合いの手」による作品を記入する。 <p>○振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「合いの手」を入れたことで、「かごまちぶし」がどのように変化したかについて、まとめる。 	<p>☆どのような囃子詞の「合いの手」を、どこに入れると作品のリズムがよくなるのかという観点で考えるよう助言する。</p> <p>☆友達作品にアドバイスをしたり友達からアドバイスをしてもらったりすることで、違った構成の仕方を考えることができるよう、3人組での活動を設定する。</p> <p>◆旋律と「合いの手」による呼びかけとこたえの音楽の構成をどのようにするかについて、自分の思いや意図をもっている。</p> <p>【創一②歌唱 演奏表現・学習カード】</p>

<p><ねらい>日本の民謡について、分かったことや考えたことをまとめる。</p>		
5	<p>○旋律と「合いの手」による音楽づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「かごまちぶし」を旋律と「合いの手」に分かれて歌う。 ・「かごまちぶし」の発表会をする。 ・友達の作品の旋律の抑揚のよさや「合いの手」の工夫について、交流する。 <p>○日本の民謡の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「会津磐梯山」「音戸の舟歌」を聴いたり「かごまちぶし」をつくったり、友達の作品を聴いたりしたことで、日本の民謡について分かったことや考えたことをまとめる。 <p>○振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価をする。 	<p>☆声の出し方や旋律の抑揚を工夫して発表するよう助言する。</p> <p>◆旋律と「合いの手」による呼びかけとこたえの音楽をつくっている。</p> <p>【技一②歌唱】</p> <p>☆旋律の抑揚や「合いの手」によってどのようなよさや面白さが生まれたのかについて、書くよう助言する。</p> <p>☆生活と音楽とのかかわりについても触れながら自分の考えを書くよう助言する。</p>

7 本時の学習(3/5時間)

(1)ねらい 声の出し方や旋律の抑揚を工夫して、「かごまちぶし」の歌詞と旋律をつくる。

(2)学習の展開

○学習内容	☆教師の支援 ◆評価【評価方法】
<ul style="list-style-type: none"> ・「〇〇さん」「はあい」で、名前リレーをする。 <p>○学習のめあての確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>声の出し方やふしまわしを工夫して、「かごまちぶし」の歌しとせんりつをつくろう。</p> </div>	<p>☆声の出し方に気を付けて歌うよう助言する。</p>
<p>○「かごまちぶし」の歌詞づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校を表す言葉を考える。 ・言葉を組み合わせて歌詞をつくる。 <p>○「かごまちぶし」の旋律づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「物売りの声」や「すもうの呼び出しの声」の旋律を参考にして、旋律をつくる。 ・3人組で各自がつくった「かごまちぶし」を聴き合う。 ・友達からのアドバイスを基にして再構成した歌詞と旋律を学習カードに書く。 <p>○振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌詞と旋律の抑揚を生かしてつくったことで、気付いたことをまとめる。 	<p>☆学校の様子、行事や日々の自分の気持ちなどから連想した言葉を友達と一緒に考える場を設定する。</p> <p>☆声を出しながらつくるよう助言する。</p> <p>☆旋律の抑揚を出すことができるように、声の出し方を工夫するよう助言する。</p> <p>☆一つの作品に対して複数の意見が出るよう、3人組での活動を設定する。</p> <p>☆グループで考えたことを基にもう一度個人の活動に戻り再構成する場を設定する。</p> <p>◆声の出し方や旋律の抑揚を工夫して、「かごまちぶし」の歌詞と旋律をつくっている。</p> <p>【技一①歌唱 演奏表現・学習カード】</p>

